



くまもとの家庭教育

文責：社会教育課
課長 福永 公彦

○くまもと「親の学び」プログラムトレーナー

第1回研修会を実施しました！

令和5年度は、県内の3会場で研修会を実施しました。

研修会では、はじめに「人権に配慮した参加体験型学習の進め方」について学んだ後、参加者の経験等に応じて【基本コース】と【実践コース】に分かれて研修を行いました。

【基本コース】では、「親の学び」講座の基本的な進め方を学んだ後、本課社会教育主事が演じた「個性的な進行役」の姿を見ることで、改善点等について協議し、望ましい進行役の姿について考えました。

また、【実践コース】では、「どのように講座をまとめていくか」という、講座の終わりに焦点を当てた協議を行い、学びを深めました。

今年も多くの特レーナーが参加され、充実した「親の学び」講座の実施に向けた研修につながりました。県内各地でたくさんの保護者の笑顔が見られることを期待しています。



【県北山鹿市会場の様子】

令和5年度(2023年度)
くまもと「親の学び」プログラム
トレーナー第1回研修会

- ・【県央地区】 令和5年5月23日(火) 県庁地下大会議室(参加者48名)
- ・【県北地区】 令和5年5月24日(水) 山鹿市鹿本市民センター(参加者53名)
- ・【県南地区】 令和5年5月26日(金) 千丁コミュニティセンター(参加者14名)

○家庭教育支援員の取組について

阿蘇市では、二人の家庭教育支援員が、子育て支援センターを拠点に活動しています。

右の写真は「子育てトーク」を開催した時のものです。多くの保護者が参加し、自分の家庭での子供の様子を話したり、他の保護者から育児の仕方を聞いたりしながら、楽しく活動されていました。感想では、「一人で頑張らなくていいんだ。」という声などが聞かれました。

また、「子育て相談」には、様々な悩みを抱えた保護者が来られており、相談後には「ここが駆け込み寺でした。」と感謝の言葉をいただいたこともあるそうです。家庭教育の重要性が高まる中、支援のさらなる広がりが期待されます。

(原稿作成：阿蘇教育事務所)



【子育てトークの様子】

阿蘇市家庭教育支援員の活動内容

- 子育て相談の対応や情報の提供
- 支援体制づくり(ネットワーク関係)
- 家庭教育支援だより(「だんらん」配布)
- 学習機会の提供(「親の学び」講座)
- 子育てトークの開催

☆☆ 熊本県社会教育課より ☆☆

家庭教育支援員は、家庭教育支援に関する「学習機会の提供」「相談対応」「情報提供」等の取組を行います。県の補助を受けて支援員を配置することにより、地域での家庭教育支援が広がっていきます。支援員の設置については、お気軽に相談ください。

【お問合せ】熊本県教育庁市町村教育局社会教育課 家庭教育支援班

T E L : 096-333-2697

E-mail : shakaikyoku@pref.kumamoto.lg.jp